

有馬高校生徒の皆さんへ

3月の臨時休業開始以降、3度目の期間延長となってしまいました。学校から皆さんの歓声が消えて2ヶ月以上、これほど長きにわたる主役不在は有馬高校創立以来初めての異常な状況です。

皆さんにとっても現状はこれまで経験したことのない厳しい日常になっていることと思います。学習、進路、クラス活動、部活動、行事等の学校生活全般に対して、不安、寂しさ、焦りなど、様々な思いを日々募らせながら、毎日を送っていることと思います。

今年度の校内行事予定は中止を含めて、大きな変更を余儀なくされています。既に連絡したように、2年生の皆さんが楽しみにしていた台湾への修学旅行は、行先を国内に変更せざるをえませんでした。また、部活動の地区大会や県外大会も相次いで中止が発表され、目標に向かって努力を続けてきた皆さんの無念を思うと言葉がありません。

ただ、高校生活を本格的に再開できるのがもう少し先になるとしても、確実にその日はやってきます。1年生の皆さんには入学式でもお話ししましたが、その日に向けて、今できることをしっかりやってほしいと思います。

3年生の皆さんは進路に向けて大きな不安を感じていることと思いますが、例年とほぼ同じスケジュールで、「G Suite」などを活用しながら、進路希望に沿ったガイダンスが実施できるよう準備を進めています。

各学年ともそれぞれ重要な意味を持つこの時期に、担任をはじめとする先生方と話ができず、悩みを抱え困惑している人も少なくないと思います。入学式の日の短時間のホームルームしか担任の先生方とコミュニケーションを図れなかった1年生の皆さんは、相談するのも少し気後れするかもしれませんが、悩み・不安があれば学校に電話してください。学年の先生方が丁寧に対応します。2年生・3年生の皆さんも、担任・学年の先生、部活動顧問の先生などに積極的に相談してください。

学習については、皆さんの学力向上につながるよう評価の視点や取組方法をより明確にして、5月中旬に第2回目の課題送付を行います。先日、ネット環境についての調査も実施しましたが、「G Suite」の活用も一層進めて、皆さんの学びを保障していきます。教室における対面での授業によらない、これまでと大きく異なる状況での学習は大変かもしれませんが、これを「自ら学ぶ」機会とし、また、臨時休業中の日々も、掛け替えのない高校生活の瞬間の連続であるにとらえ、意味深い毎日を送ってほしいと思います。

そして何より、皆さんが、そして皆さんの周りの人が新型コロナウイルスに感染することがないように、感染拡大防止に努めてほしいと思います。皆さん一人ひとりの行動が、現在の非常事態の収束につながっていきます。

困難に立ち向かい一段と成長した皆さんの歓声の有馬高校に戻って来る日を楽しみにしています。

令和2年5月6日

校長 玉井 正史